

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことは
無常(むじょう) —ずっとおなじものなんてない—

菜園日記

おうちであそぼ！
—ちょうちんを作ってみよう—

くらしの歳時記
—お盆のはなし—

平成 29 年

7・8月号

東山浄苑東本願寺発！ママと子どものフリーペーパー **だっこだっこあみだっこ** です♪
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育ては、とても尊い大事な**
ことです。いい子になってほしい、と思いながらも、**ほんとうのやさしさ、かしこ**
さ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびになり
ますように。ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「無常(むじょう) —「ずっとおなじ」ものなんてない—」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

諸行無常

今月のテーマは「無常」です。聞きなれない言葉かもしれませんがね。この「無常」というのは、仏教ではとても大切な、おおもとになる考え方です。無常のことを、しよぎょうむじょう「諸行無常」と言うこともあります。授業などで、『平家物語』の書き出しを聞いたことがあるお友達もいるのではないのでしょうか。へいけものがたり「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」、この書き出しは大変有名ですね。

の響きあり
諸行無常
鐘の声
祇園精舎の



祇園精舎というインドにあるお釈迦さまのお寺の鐘の音には、「諸行無常」を感じさせる響きがある、という意味です。

「無常」「諸行無常」とは、「この世界のありとあらゆるものは、たえずうつり変わっていて、ずっとおなじでいることはできない」という意味です。

「ずっとおなじでいられない？ わたしはわたしでずっと同じ人じゃないの？」と疑問に思うかもしれませんね。でも、ほんとうに「わたし」はずっとおなじ「わたし」でしょうか？ わたしたちのまわりに、「ずっとおなじ」ものはあるのでしょうか？

すほうの木

「すほうの木」というお話があります。

昔むかし、ある国の王さまが4人の息子に、「すほうという名前の木を知っているか？」と、尋ねました。王子たちは誰もその木を見たことがありませんでした。そこで王さまはそれぞれ日にちをあけて、1人ずつすほうの木に連れて行きました。

全員が木を見終わったあと、王さまはまた4人を集めて

すほうの木はどんな木だったか？

と聞きました。

さて、王子たちはなんと答えたのでしょうか。

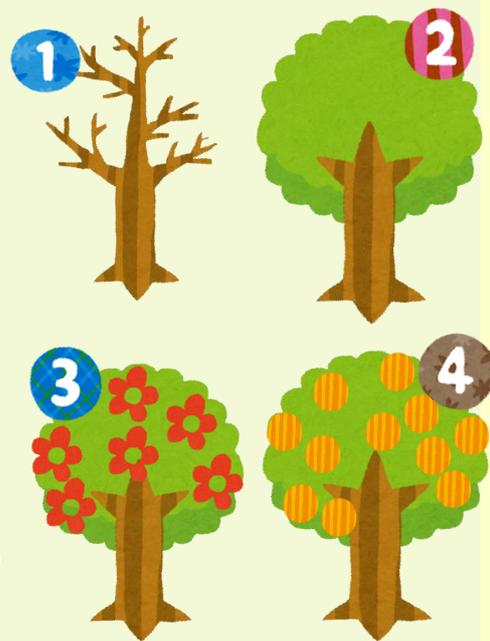


1番目の王子は「葉っぱのないさびしい木でした」、2番目の王子は「それはウソです！緑の若葉が元気にしげっていました」と答えました。3番目の王子は「いいえ、真っ赤な花がたくさん咲いている木でした」、4番目の王子は「みんなまちがっています！オレンジ色の実がたくさんなっている木です」と答えました。4人ともばらばらです。はたして、どれが本当のすほうの木なのでしょう？

—実は、どれも正解なのです。

葉っぱのないさみしい木は、時間が経つとたくさんの葉っぱをつけ、そして真っ赤なお花を咲かせ、オレンジ色の実がなり、やがてはすべて枯れ落ちて、また葉っぱのない木になります。

同じ木でも、季節によって姿がまったく変わってしまうということから、すべてのものは変わり続ける、「無常」だ、ということ、王さまは王子たちに伝えようとしたのです。



「ずっとおなじ」ものなんてない

変わりつづけるのは木や自然だけではありません。私たちの体も、日々変わっていきます。身長や体重は日々変わっているし、髪の毛だって毎日のびています。



体だけではなく、私たちの心、感じることや、まわりの人との関係、好きなものやきらいなものも、生きていく中でどんどん変わっていきます。さっきまで仲良くしていた友だちと、ちょっとしたことでケンカして、その子のことが大きらいになる…でも、次の日にはケンカなんてどう

でもよくなって、また仲良くあそぶようになっていたりしますね。

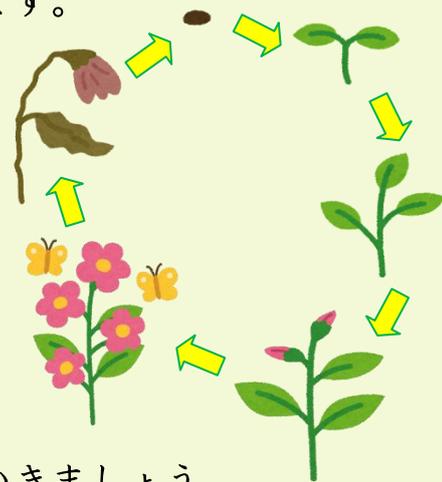
私たちの「命」も「ずっとおなじ」ではいられず、「死」から逃れられる生き物はいません。飼っていた犬のペロちゃんが死んでしまった、学校のうさぎの花ちゃんが死んでしまった、とても悲しい経験をしたお友だちもいるかもしれません。

お釈迦さまは、たくさんの苦しみから人々を救うにはどうしたらよいか、を説き明かされました。私たちは、気持ちがかわってしまうことや、年をとってからだも弱り、いつか死んでしまうことを何とかして止めようとし、大好きな人を失って悲しみにくれたりします。でも、ずっと変わらないことなんてないのです。

今のこの悲しいきもちも、だんだんやわらいでいき、心を立て直すことができる—。お釈迦さまは、

「『無常』ということを知れば、人は苦しみから離れることができる」と教えて下さったのです。

すべてのものがうつりかわっていくことは、誰にも止めることはできません。でもそのことを知っていれば、今の自分にしかできないことに気づくことができます。この世は「無常」だからこそ、一瞬一瞬を大切に、もう二度と来ない今日という日を、せいいっぱい過ごしていきましょう。



だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い -仏法に親もう 土に親もう!- ってなあに？

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。お気軽にお尋ねください！



【活動日】 毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更 【場所】 東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★
東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日 9:00 ~ 17:00



—参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内—

7月16日(日)

10:00~12:00

【7月のことばと目標】

じょうど
浄土

—目にみえない世界を知る—

【活動内容】

ししとう・なす・トマト
ズッキーニ・しその収穫
こども盆灯会提灯づくり②

【場 所】 東山浄苑東本願寺内

【参加費】 1家族 1回 1,000円

※参加ご希望の方は事前にお電話でお申し込みください。

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、扇子づくりなど室内企画を行います！お楽しみに♪

8月15日(火)

15:30~(15時より受付開始)

【8月のことばと目標】

ふせ
布施

—「だれか」のために「わたし」ができること—

【活動内容】

こども盆灯会

【場 所】 東山浄苑東本願寺内

【参加費】 中学生以下の子ども 1人100円

8月は通常の親子仏法の集いはお休みです

東山浄苑東本願寺の盂蘭盆会期間中に「こども盆灯会」を今年も開催！

提灯をお供えし、あかりを灯す「献灯」、お盆のお話の紙芝居、最後はおさがりをみんなで見させていただきます！



だっこだっこあみだっこ 平成29年7・8月号

平成29年7月10日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山花山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料